



<http://www.rupinasu-inc.co.jp/>

★最新介護医療情報★

マイナンバーで保険証代用 21 年 3 月から医療保険で（共同通信社 H31.2.15[金] 配信）

政府は健康保険法などを改正し、マイナンバーカードを健康保険証代わりに使えるようにする。医療保険の個人情報や病院などの関係機関がオンラインで確認できるようにする仕組み作りの一環で、2021 年 3 月からの本格導入を目指す。医療機関側にはシステム整備の負担がかかるが、肝心のカードの普及は進んでおらず、課題は多い。

現在は世帯ごとに医療保険番号が付与され、転職や退職で保険の種類が切り替わると保険証も新たに発行される。だが失効した保険証の利用による無効な請求や未収問題が生じていることから、医療保険番号を個人単位化し、情報を一元的に管理しやすくする。

患者は加入保険の種類が変わっても保険証を切り替えなくてよくなる。カードの ICチップから情報を読み取るため、医療機関が写しを控える手間も省ける。ただ総務省によると、カードの普及率は昨年 12 月時点で約 12%と低迷。利用の広がりが読めない中、小規模の医療機関でもシステム導入が進むかは不透明だ。

インフルエンザの免疫、腸内細菌が作る…東大・医科研チームが発表（読売新聞社 H31.2.14[木] 配信）

腸内細菌が体内で作る物質がインフルエンザウイルスに対する免疫反応を向上させる可能性がある、東京大医科学研究所の一戸猛志准教授らのチームが発表した。論文が米科学アカデミー紀要に掲載された。

腸内細菌は食物繊維を消化して人間などの重要な栄養源「短鎖たんぱく質 脂肪酸」を作っている。チームは、インフルエンザウイルスへの免疫反応が低下したマウスに、酢酸と酪酸、プロピオン酸の 3 種類の短鎖脂肪酸を投与した。その結果、インフルエンザウイルスを排除する免疫反応が回復したという。

国立感染症研究所の長谷川秀樹・感染病理部長の話「腸内細菌が感染症の予防に重要な働きを担っている可能性を示す成果だ。人間の体内でも同じことが起こるかどうかが、確認する必要がある」。

「ポケエ.GO」で歩数増、中高年 1 日に 9600 歩超（朝日新聞社 H31.2.13[水] 配信）

歩きながらスマホを集めるスマホ用ゲーム「ポケエ.GO」で遊ぶ中高年層は、冬でもよく歩くとの分析を東京大の研究チームが発表した。とくに 55～64 歳ではその傾向が顕著で、サービス開始から 5 カ月後の 2016 年 12 月には、ゲームで遊んでいる人は 1 日平均で 9654 歩歩き、遊んでいない人より 1891 歩多かった。

研究チームは、横浜市の協力を得て、市内の 40 歳以上の 230 人の 1 日の平均歩数を、ポケエ.GO のサービス開始前の 2016 年 6 月と、開始後の 8 月～翌年 3 月で比べた。

冬は出無精になりがちだが、ゲームで遊ぶ 46 人は歩数の減りが少なく、16 年 11、12 月と翌年 2 月で、遊んでいない 184 人と比べて歩数が多かった。

年代別に分析すると、55～64 歳でとくに歩数の差が大きく、調査した 8 カ月のうち、7 カ月で遊んでいない人より歩数が多かった。今でも熱心に遊んでいる利用者は、よく歩く傾向が続いている可能性がある。

樋野公宏准教授は「若い時にゲームを楽しんだ世代が中高年になり、この世代はゲームを使う健康増進法との親和性が高いのではないかと。中高年の健康対策を考えるために役立ちそうだ」と説明する。

地域ルピナス講習会のお知らせ

第 33 回 忠岡地域リハビリ勉強会

⇒訪問におけるリハビリと看護の必要性について

開催日：平成 31 年 3 月 15 日（金）

時間：午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分

場所：忠岡町文化会館 地下 1 階会議室

講師：ルピナス理学療法士 多田大樹

ルピナス理学療法士 池辺晃子



第 63 回 東大阪地域リハビリ勉強会

⇒歩行の重要性について～理学療法士の視点～

開催日：平成 31 年 4 月 18 日（木）

時間：午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分

場所：東大阪市立東体育館 第三研修室

講師：ルピナス理学療法士 瀧本将史

第 23 回 城東地域リハビリ勉強会

⇒呼吸リハビリテーションについて

開催日：平成 31 年 4 月 20 日（土）

時間：午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分

場所：城東区民センター 小会議室 2

講師：ルピナス理学療法士 塚本征宏

